

M85A

吸引シミュレータQちゃんⅡ

ユーザーズガイド



目次

はじめに	P.2
製品の特長	P.2
主なトレーニング内容	P.2
ご使用の前に	P.3
構成品の確認	P.3
セット内容と各部の名称	P.4
セット内容	P.4
実習の準備	P.5
内部構成品の組み立てとセット	P.5
組み立て時の確認	P.6
実習前の準備について	P.6
実習前の注意事項	P.7
後片付け	P.8
皮膚部の取り外しと洗浄	P.8
内部構成品の洗浄	P.9
洗浄後の確認・保管	P.9
消耗品	P.9

吸引シミュレータQちゃんⅡ（M85A）は、株式会社京都科学製の吸引実習用トレーニングモデルです。

製品の特長

本製品は、ボディ本体に鼻腔、口腔、気管および食道をセットし、皮膚をかぶせて使用します。

模擬痰、およびシリンジを用いた吸引実習に使用します。



主なトレーニング内容

1. 口腔・鼻腔・気管切開部からの吸引手技を練習できます。
2. バイトブロックや気管切開チューブの挿入も可能で、チューブ装着時の吸引もできます。
3. 模擬痰を用い、カテーテルの挿入から分泌物の吸引まで一連の操作をトレーニングできます。
4. 鼻腔、口腔、気管、食道を個別部品として組み立てる構造のため、内部構造や各部の位置関係を確認しながら準備できます。
5. 皮膚および内部部品は取り外して水洗いでき、繰り返し実習に使用できます。
6. 医療・看護・介護領域における吸引手技の教育・研修用モデルとしてご使用ください。

ご使用前に、構成品がすべて揃っていることを確認します。

構成品の確認

1. ボディ本体、皮膚および内部構成品が揃っていることを確認します。
2. 模擬痰・カップ、シリンジおよびトレーニングモデル用潤滑剤が揃っていることを確認します。

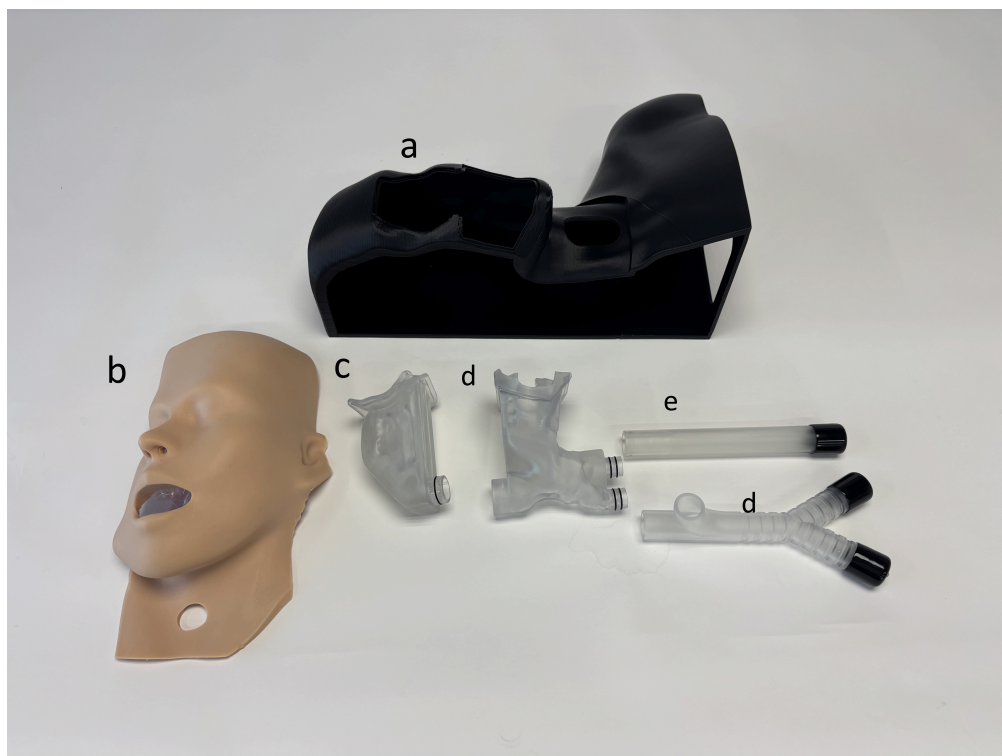


構成品

本製品は、ボディ本体、皮膚、内部構成品および付属品で構成されています。

セット内容

区分	構成品	数量
a本体	ボディ 本体	1
b本体	皮膚	1
c内部構成品	鼻腔	1
d内部構成品	口腔	1
e内部構成品	気管	1
f内部構成品	食道	1
g付属品(写真なし)	模擬痰	1
h付属品(写真なし)	カップ	1
i付属品(写真なし)	シリンジ	1
j付属品(写真なし)	トレーニングモデル用潤滑剤	1
k付属品(写真なし)	収納ケース	1

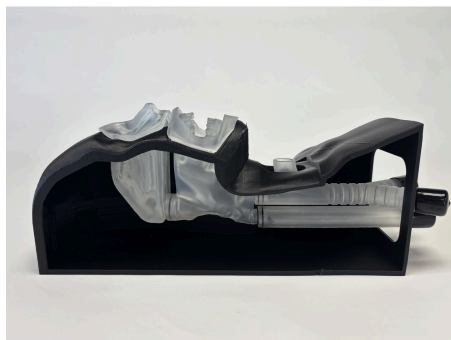


本体および内部構造

実習前に、内部構成品を組み立ててボディ本体にセットします。

内部構成品の組み立てとセット

1. 鼻腔と口腔を組み立てます。
2. 鼻腔と口腔をボディ本体にセットします。
3. 気管と食道を口腔の部品に取り付けます。



気管と食道を口腔へセット

組み立て時の確認

- ・ 鼻腔・口腔、気管と食道の接続部は、向きを確認しながら奥までまっすぐ差し込んでください。
 - ・ 接続後に、部品の外れがないことを確認してください。
 - ・ 取り外す際は、接続部付近を持ってゆっくり引っ張って外してください。
4. 皮膚を上からかぶせます。



皮膚をセットした状態

皮膚をセットしたら、実習の準備は完了です。

実習前の準備について

1. 切れ込みから模擬痰の封を開封します。
2. 付属のボトルに模擬痰を注ぎます。
3. 付属シリンジに模擬痰を注入します。
4. モデルの口腔内・気管切開部にシリンジから直接模擬痰を注入します。
5. カテーテルと軟質特殊樹脂との摩擦により、カテーテルの挿入がしにくい時は潤滑剤スプレーを鼻腔、口腔、気管切開部に軽く吹き付けてください。カテーテルの挿入を助けます。

実習前の注意事項

- ・ 本製品のセット内容に吸引カテーテル・吸引器は含まれていません。実習で使用する吸引カテーテル、吸引器、手袋などを別途準備してください。
- ・ 模擬痰は材料の特性上、粘度が変化する場合があります。粘度が高いときは少量の水を加え、よく攪拌して調整してください。
- ・ 模擬痰は長時間空気に触れると乾燥します。使用後は容器の蓋をしっかりと閉め、密閉してください。
- ・ 模擬痰は着色されています。衣類、シーツ、机上などへの付着に十分ご注意ください。
- ・ 実習中に模擬痰がこぼれる場合に備え、トレイや防水シートの上でを使用することをおすすめします。

実習後は、皮膚および内部構成品を取り外して水洗いします。

皮膚部の取り外しと洗浄

1. 皮膚をボディ本体からはがします。
2. 皮膚を水洗いします。



皮膚を取り外した状態

内部構成品の洗浄

1. 気管支と食道を取り外します。
2. 取り外した構成品の先端のキャップを外します。
3. 気管支と食道を蛇口の流水で水洗いします。
4. 喉頭と咽頭を水洗いします。
5. 各部に付着した模擬痰をしっかりと洗い落とします。
6. 水洗いした各部を乾かします。

△ 注意

内部部品を取り外す際は接続部付近を持ち、ゆっくり引っ張ってください。

洗浄後の確認・保管

- ・ 内部部品に模擬痰が残っていると、乾燥して洗浄しにくくなります。実習終了後は速やかに十分な水で洗い流してください。
- ・ 洗浄後は、皮膚・内部部品に水分が残っていないことを確認し、十分に乾燥させてください。
- ・ 各部が完全に乾いてから組み立てる、または保管してください。湿ったまま密閉しないでください。
- ・ 高温多湿、直射日光のあたる場所を避けて保管してください。
- ・ 皮膚表面に印刷物を直接触れさせた状態で保管しないでください。インクが樹脂に移行する場合があります。
- ・ 次回使用前に、各部の破損、変形、接続部の外れがないことを確認してください。

消耗品

- ・ 11229-070 模擬痰/ 模擬水様便
- ・ 11229-050 トレーニングモデル用潤滑剤